

学位論文審査結果の要旨

博士課程 甲 乙	第 57 号	氏 名	HOMBU AMY
審 査 委 員		主 査 氏 名	新 竜 一 郎
		副 査 氏 名	野 中 成 晃
		副 査 氏 名	岡 山 昭 亨
[論文題名]			
Treatment of larva migrans syndrome with long-term administration of albendazole			
Journal of Microbiology, Immunology and Infection, accepted			
[要 旨]			
<p>幼虫移行症はヒトが中間宿主である寄生虫(イヌ回虫や猫回虫等)の感染を受けたときに、幼虫が体内を動きまわることによって生じる疾患のことである。通常幼虫移行症と診断されるとアルベンダゾールの経口投与が行われるが、投与期間などについて世界共通の投与方法は確率していない。日本ではアルベンダゾールの投与期間は欧米諸国に比べてかなり長期間行われるがその利点と安全性については明らかでなかった。本研究では2004年から2014年まで診断された症例のうちフォローアップ可能であった299症例について解析した。その結果、アルベンダゾール投与群では78%の有効率であった。副作用は15%に認めだが重篤なものはなかった。これらの結果は、アルベンダゾールの長期投与は安全性に問題はなく、治療効果も高いことを示しており、今後の幼虫移行症に対するアルベンダゾールを用いた治療法の最適化を行う上で重要な知見である。</p>			